

対話で紡ぐデジタル・ストーリーテリング —語りによるエンパワメントをめざして—

近年、日本語教育の現場では、「語り」を通じたエンパワメントの可能性や課題に関心が高まっています。本研修では、対話を通して想いや経験を物語に紡ぎ、写真やナレーションで表現する活動である「デジタル・ストーリーテリング」のワークショップの一部を体験しながら、ことばにならない想いをどのように引き出し、声として形にする手助けをしていけるか、その手法を学びます。そして自分のストーリーを語ること・聴くことの意義や、語りを扱う上で留意すべきことは何かなど、理解を深め、考えていきます。

日時：2016年3月5日(土) 13時～17時30分

会場：早稲田大学 早稲田キャンパス 22号館 [アクセス・地図](#)

講師：小川明子氏（名古屋大学国際言語文化研究科 准教授）

コーディネーター：矢部まゆみ、杉原由美、鈴木寿子（教師研修委員）

対象：地域における在住外国人や外国につながる子どもたちを対象とした日本語教育に携わる方々、教育機関で留学生や日本人学生を対象とした言語教育活動に携わる方々、市民としてさまざまな社会活動に携わる方々等

定員：40名（先着順）

受講料：一般3,000円／日本語教育学会会員2,000円／学生1,500円

内容：予定のため変更することがあります。

13:00-13:45	デジタル・ストーリーテリングとは？ 作品例鑑賞
13:45-16:55	ストーリー制作体験(ミニ・ワークショップ)
17:00-17:30	ディスカッションとまとめ、質疑応答

参考文献：小川明子(2015)「対話的・協働的デジタル・ストーリーテリングの提案」『メディアと社会』7巻, 95-102

事前準備：デジタルカメラ・スマートフォン・タブレット端末・ノートパソコンなど、写真撮影できる機器、あるいはウェブで自分がイメージする画像をさがして取り出すことができる機器をご持参ください(詳細は申込書の質問3をご参照ください)。

～講師からのメッセージ～ 小川明子氏

デジタル・ストーリーテリングは、写真と声でシンプルな日常のストーリーを作るワークショップ型の活動で、授業やさまざまな活動に手軽に活用できるツールです。対話と遊びを重視したストーリーテリングで、日常世界や他の人たち、そして自分についての新しい見え方に会ってみませんか。

プロフィール

「声なき想いに物語を」「対話から紡がれる物語」といったコンセプトに基づいて、外国につながる子どもたちや、留学生、高齢者、障がいをもった方、被災地の方などとデジタル・ストーリーテリングのワークショップを展開し、ストーリーテリングという行為がいかに社会包摂に寄与できるかについて研究を進めている。

※専門分野：メディア論、メディア・リテラシー、コミュニティ・メディア研究。

※参考ホームページ(手法や作品事例掲載)：メディアコンテ <http://mediaconte.net/>



2/25
締切

◆申込方法◆

参加申込書を学会ホームページ <http://www.nkg.or.jp/menu-kenshu.htm> からダウンロードして、メール添付またはFAXでお送りください。メール応募の場合、題名は「3月5日ストーリーテリング研修申込」としてください。申込書が到着次第、折り返しメールで受講料の振込先等をご連絡します。締切は2月25日(木)です。締切日前でも定員になり次第、募集を終了します。

◆注意事項◆

申込書を送っても学会からの返信メールが到着しない場合は書類未着の可能性がございますので、必ずご自身の責任においてご確認ください。事務局対応は平日の9～18時です。週末や夜間の対応は翌日以降となります。なお、本募集に関して集めた個人情報は本研修の実施以外の目的には使用いたしません。応募書類は返却しません。

◆申込および問合せ先◆

公益社団法人 日本語教育学会
教師研修委員会事務局
〒101-0065 東京都千代田区西神田
2-4-1 東方学会新館 2F
TEL : 03-3262-4291
FAX : 03-5216-7552
E-mail : kyoshikenshu (あっとまーく) nkg.or.jp

【日本語教育学会教師研修委員会宛】メール kyoshikenshu@nkg.or.jp FAX 03-5216-7552

「対話で紡ぐデジタル・ストーリーテリング」(2016年3月5日)

参加申込書

氏名	(漢字) (ローマ字)
所属・職名	所属: _____ 職名: _____
会員種別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 日本語教育学会会員 [No. _____] <input type="checkbox"/> 学生(学校名: _____)
住所	〒 _____
電話	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> 携帯
FAX	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> なし
E-mail 携帯アドレス不可	※連絡の基本はEメールとなりますので、間違いがないかご確認ください。
日本語教育経験	()年 主な機関・対象

1. 受講動機を簡単にお書きください。

※文字数等は問いませんが応募用紙全体がA4, 1枚に収まるようお願いいたします。

2. デジタル・ストーリーテリングについて、該当するものに☑をつけてください。

- (1) 今まで知らなかった (2) 目にしたり聞いたりことがある (3) 作品を見たことがある
 (4) 作品を作ったことがある (5) その他(_____)

3. 研修当日、デジタルカメラ・スマートフォン・タブレット端末・ノートパソコンなど、写真撮影をしたり、過去に自分が撮影した写真を見たりすることができる機器、あるいはウェブで自分がイメージする画像をさがして取り出すことができる機器を各自ご持参ください。機器はフル充電しておいてください。また可能な方はパソコンへの接続用のケーブルもお持ち下さい。

当日会場にご自身で持参予定の機器に☑をつけてください

- (1) デジタルカメラ (2) スマートフォン(iPhone 等) (3) スマートフォンではない携帯電話
 (4) タブレット端末(iPad 等) (5) ノートパソコン

4. この研修コースを何で知りましたか。該当するものに☑をつけてください。

- (1) 学会からのメール (2) その他からのメール(_____) (3) 学会ホームページ
 (4) 学会からのチラシ (5) 学会誌『日本語教育』 (6) 友人・知人
 (7) 大学・日本語学校等機関(_____) (8) その他(_____)

5. 当日研修の様子を記録・広報等の使用目的で写真撮影をいたします。該当するものに☑をつけてください。

研修当日の撮影を (1) 承諾する (2) 承諾しない